

意見交換会「丸亀市自治基本条例を考える」 記録

意見交換会の概要

1. 目的

本市では今年度、丸亀市自治推進委員会において、丸亀市自治基本条例の各条項の運用がこの条例の理念に適合したものになっているかどうかなどの検討を行っている。

その検討の際の資料として、本条例の基本原則である「情報の共有」、「市政への参画」、「協働」に関して広く市民の意見をお聞きする市民アンケートの実施に加え、より具体的なお意見を頂くために、市民活動者を対象に意見交換を実施するものである。

2. 対象

次の①または②に該当する市民活動者の内の参加希望者（1回最大5者まで）

- ① 令和3年5月31日現在、丸亀市に登録しており、代表者の住所が丸亀市内にある市民活動者
- ② ①に含まれるNPO法人以外で、代表者の住所が丸亀市内にあるNPO法人

3. 日時

令和3年7月16日（金）・14時～15時30分、19時～20時30分

17日（土）・14時～15時30分、19時～20時30分（計4回）

4. 場所

丸亀市市民交流活動センター（マルタス）ROOM4

5. 参加者

4回で18市民活動団体（者）22名

1	大手前丸亀中学・高等学校	10	NPO法人 地方創生伝統住宅保存対策協議会
2	みたから市実行委員会	11	丸亀福祉の店
3	国際ソロプチミスト丸亀	12	NPO法人 かがわサンサン倶楽部
4	NPO法人 讃鑫園	13	コミュニティナースまるがめ
5	認定NPO法人 さぬきっずコムシアター	14	香川歴史的建造物保存活用会議
6	Colorisメディカルアロマ	15	NPO法人 丸亀わくわく市場
7	NPO法人 スポーツクラブ飯山	16	瀬戸マジッククラブ綾歌支部
8	WillMs丸亀	17	木村 様
9	NPO法人 さきがけチャレンジ塾	18	ゆうとぴあギター倶楽部

6. 内 容

- 意見交換会の目的を説明
- 参加者の自己紹介・活動紹介
- 丸亀市自治基本条例のポイントと運用を説明
- 市民アンケートの速報を紹介
- 意見交換

7. 配付資料

- 意見交換会 丸亀市自治基本条例を考える（別紙）
- 丸亀市自治基本条例 概要

いただいたご意見の概要

1. 情報発信、情報共有について

①市からの情報発信・情報共有について

- 市の職員と議論を行う際には、議論を始める前に、お互いに同じだけの知識を持つ必要があると思うが、その情報が市から出てこない。説明資料がほとんどない。
- 市広報による情報発信が効果的だと思うが、紙面に限りがあったり、締切日の問題があったりして十分な情報を掲載できないことが多い。広報にQRコードを掲載すれば、詳細な情報に関してホームページを見てもらえるのではないか。
- 市のチラシなどについて、作って置いておくだけではだめで、手に取ってもらうようにしなければならない。飯山北コミュニティセンターだと、何度も回覧を回してくる。1回や2回ではなく、ずっとやり続けることが必要。
- 三豊市はプレスリリースをうまく使っている。
- 市からの情報は、コミュニティを構成する各団体くらいまでは入れてもらいたい。
- 市民活動団体に対して情報提供してもらえると、団体内のツール（ネットワークや声かけなど）を通じて、さらに構成員に対して情報を伝えていくことはできる。

②みなさんが活動する際の情報発信・情報共有について

- イベントを行っているが、その情報が十分届かないということはよくあること。興味のない人に情報を届けるのは本当に難しい。
- ありとあらゆる方法で情報発信している。紙ベース、インターネットなど。中でも、

全世帯に情報が届くように、紙の情報を大量に配付している。子育て関係だと、学校を通してなど。アンテナを張っている人にはそれで情報が届くが、生活に困っている人など、本当に情報を届けたい人にはチラシを配っても響かない。

- 年度末に活動パンフレットを作成し、一定の範囲のエリア内で配付している。それに20数万円くらい費用がかかっている。
- ホームページで必要な情報を探していると階層が深くなり、途中で面倒くさくなる。紙だと一覧で見ることができる。
- 情報発信には紙媒体も大事だが、口コミも大事だと思っている
- 広報する際は、必ず複数の手段（紙とメール、SNSなど）を使っている。そうしないと取り残される人が生まれる。
- 今は情報過渡期であるため、年代に応じた様々な広報手段が必要。
- 様々な広報手段がある中で、今なお紙媒体による広報活動は重要である。

2. 市政への参画について

- 市政への参画ということだったら、選挙の視点がほしい。
- 市には、私もいろいろな意見を出しているが、ほとんどが一方通行になっている。
- アンケートに答えても、その後、どうなったのかが見えない。
- パブリック・コメントについては、どのように生かしたかも公表したらどうか。
- 「今、市ではこういった形で計画を考えている、市民のみなさんから意見を寄せてほしい」というメッセージが弱い。ユーチューブやインスタグラムなどでメッセージを発信してはどうか。
- どのような会議が開催され、どういった話し合いが行われたということを市から発信して、市民が「市政は動いているんだな」とキャッチできる機会をつくっていただけたら、市政への参画にもつながるのではないかな。
- 市の動きに関心のある若者は多い。しかし、市に対して意見を出そうとしないのは、キャッチボールができないと思っているからではないか。回答する必要がないものに対して、市から「ご意見をありがとうございました」などと返事をすれば、出した本人は次も意見を出してみようと思うのではないかな。
- 市民の多くは「市政に興味がない」と言っているが、このような場に呼ばれていろいろな話を聞くと、一歩踏み込んで市政について知りたいと思うようになるかもしれない。一般の人に来てもらって、意見を聴くような機会をつくることも大切ではないかな。

3. 協働について

①市との協働について

- 丸亀市は「行政主導型」というのが本質的に変わっていないように思う。ワークショップや研修会など、市民の声を聴く場に参加しても、結果を見ると、全然市民の声が通っていないと感じる。
- 各コミュニティに配置されている「地域担当職員」はとてもいいと思っている。市民と職員との交流や、市の情報を入れていただけることがありがたい。

②市民交流活動センター（マルタス）について

- マルタスのことを最近まで知らなかった。マルタスを知ってもらう大きなイベントをしなければ情報が届かないのではないかな。
- 協働のまちづくりを進めるに当たって、協働できる団体の土台がまだできていないと思う。土台づくりのためにマルタスはできたのだと思っている。
- マルタスは、市民活動を推進している施設だと思うので、例えば、市民活動をしている団体を紹介するパネルやチラシ、リーフレットなどを置いて、来館者に丸亀の市民活動を知ってもらうようなものがあったらいいと思う。
- ここが活性化し、市民活動が活発化していってくれたら嬉しいので、そのためにはどうしたらいいかという意見を聞いてもらえる場所になってほしい。
- 今まで市民活動をしてきた中でつながりができてきたので、事業をするときなどに助けてもらっている。そのような、団体同士のつながりをつくる役割をマルタスに担ってほしい。
- 各団体がイベントなどをするときにはボランティアを募集することがある。そのような募集についても、マルタスがイベントを紹介しながら、ボランティア募集についても情報発信してくれたら、何気なく来館した人の目に留まることもあるのではないかな。

4. その他

- こういう場で各団体のことを共有することができて、非常に良かった。今後の広がりにも期待したい。